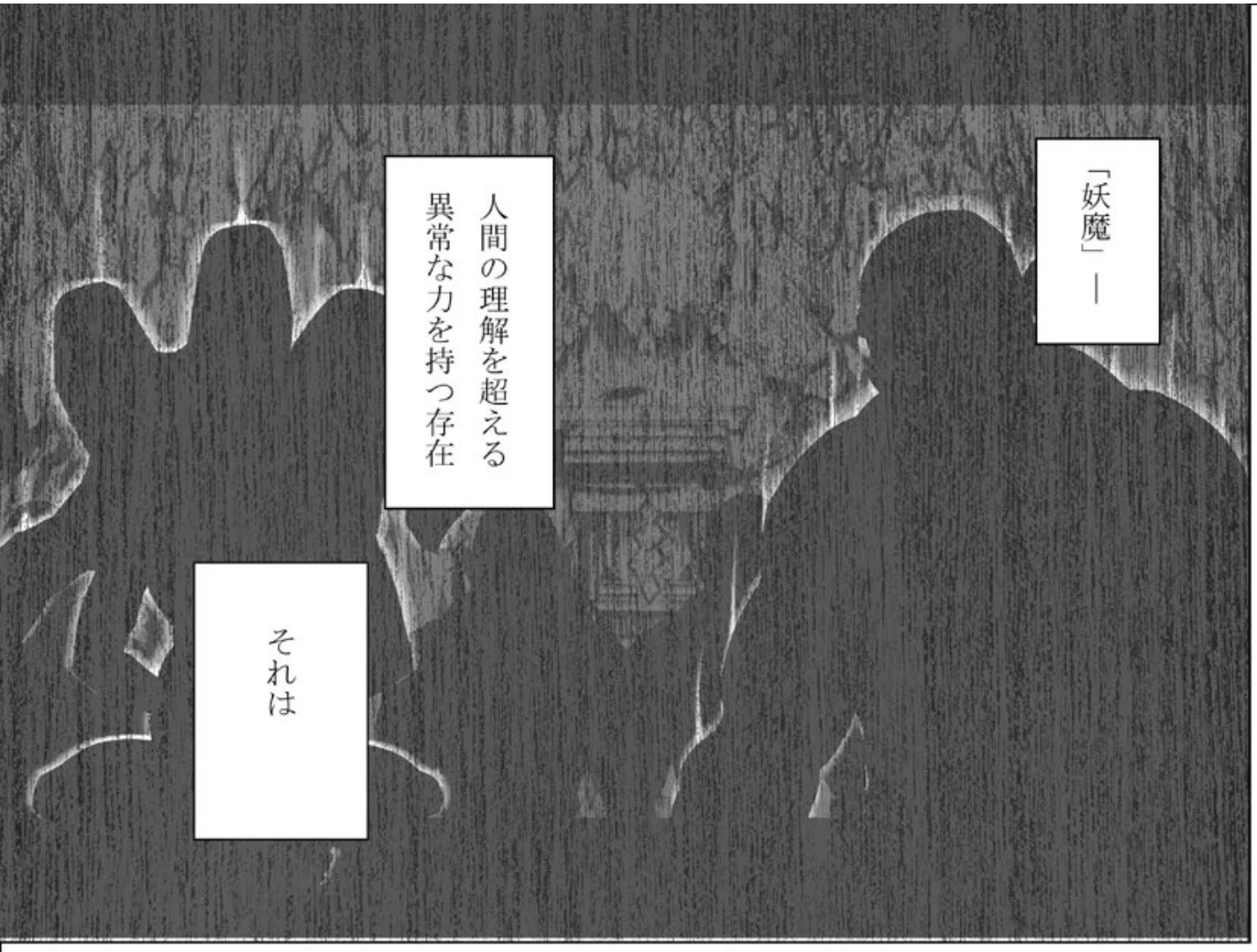
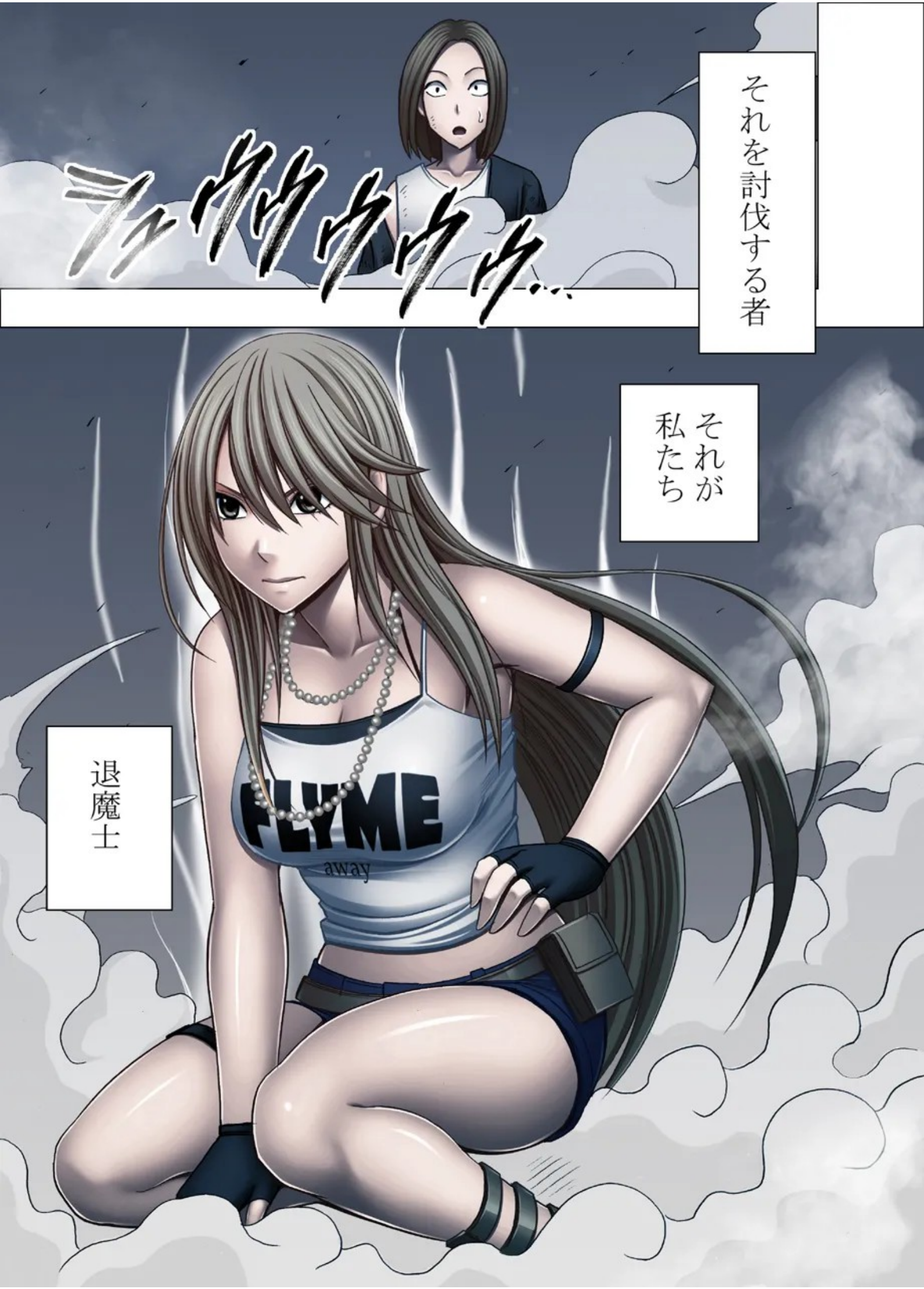
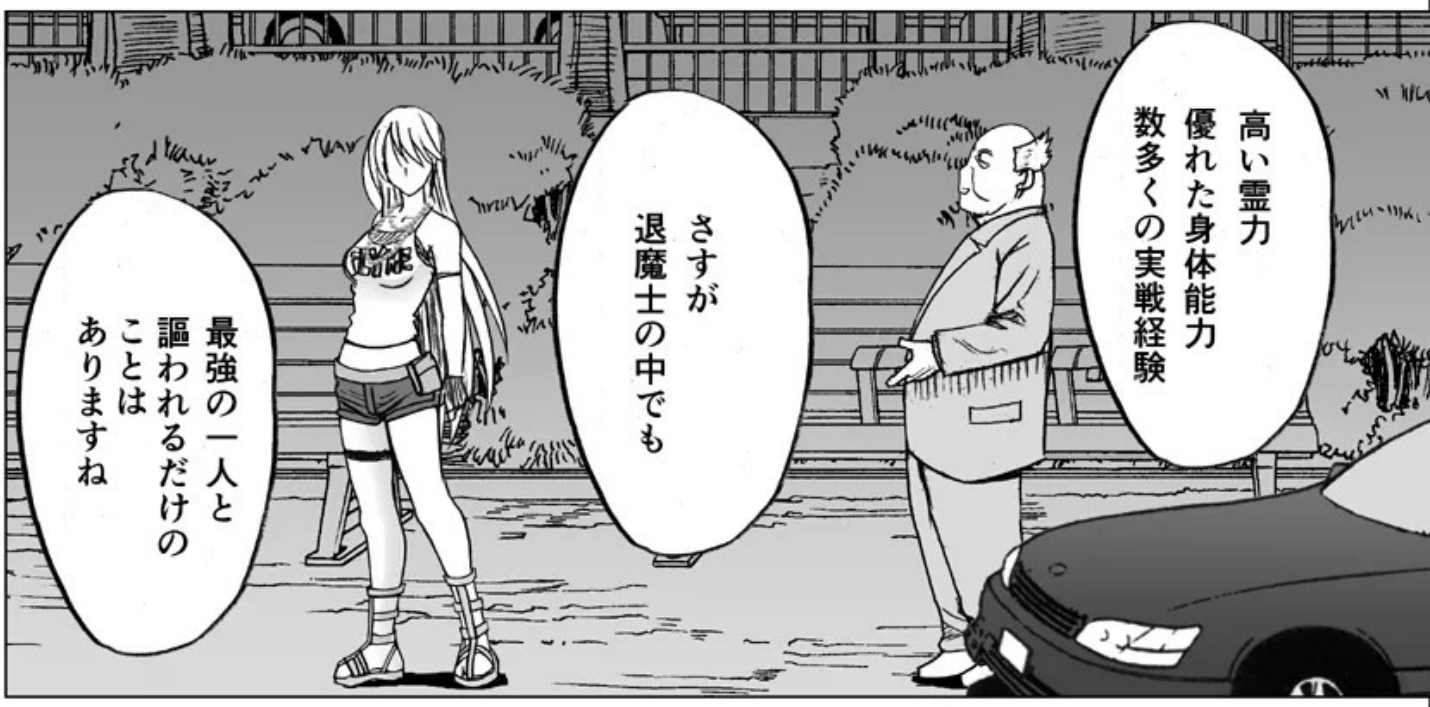
FLYME
FLYME
away
新退魔士カグヤ
DEVIL EXECUTIONER KAGUYA

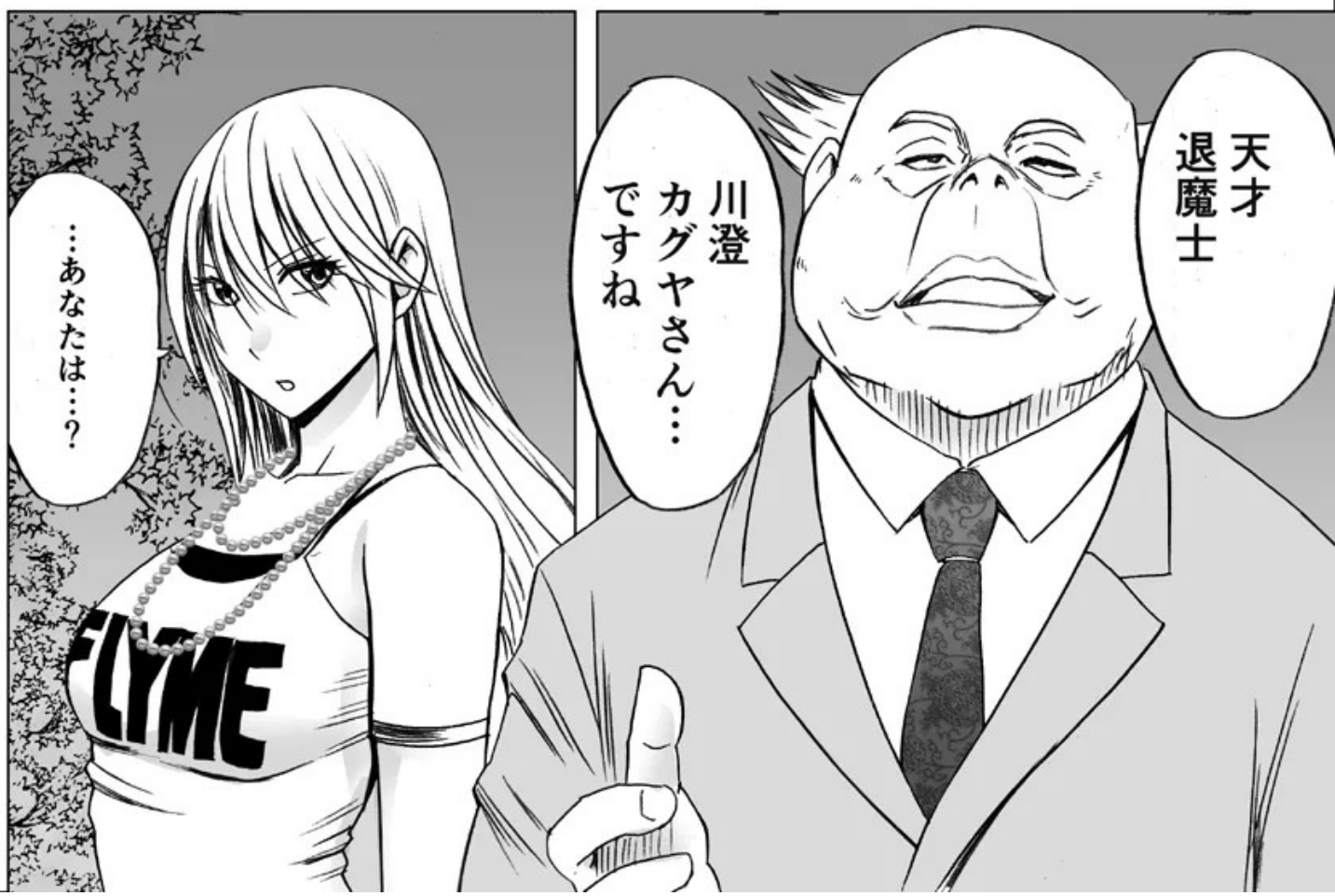

「妖魔」―
人間の理解を超える
異常な力を持つ存在
それは

この現代社会にも
潜んでいる
ゴゴゴゴゴゴ
いやっ！
助けて誰か！


それを討伐する者
ミィクカクカ…
それが私たち
退魔士
FLYME
away

さきほどは
見事な
お手並みでした

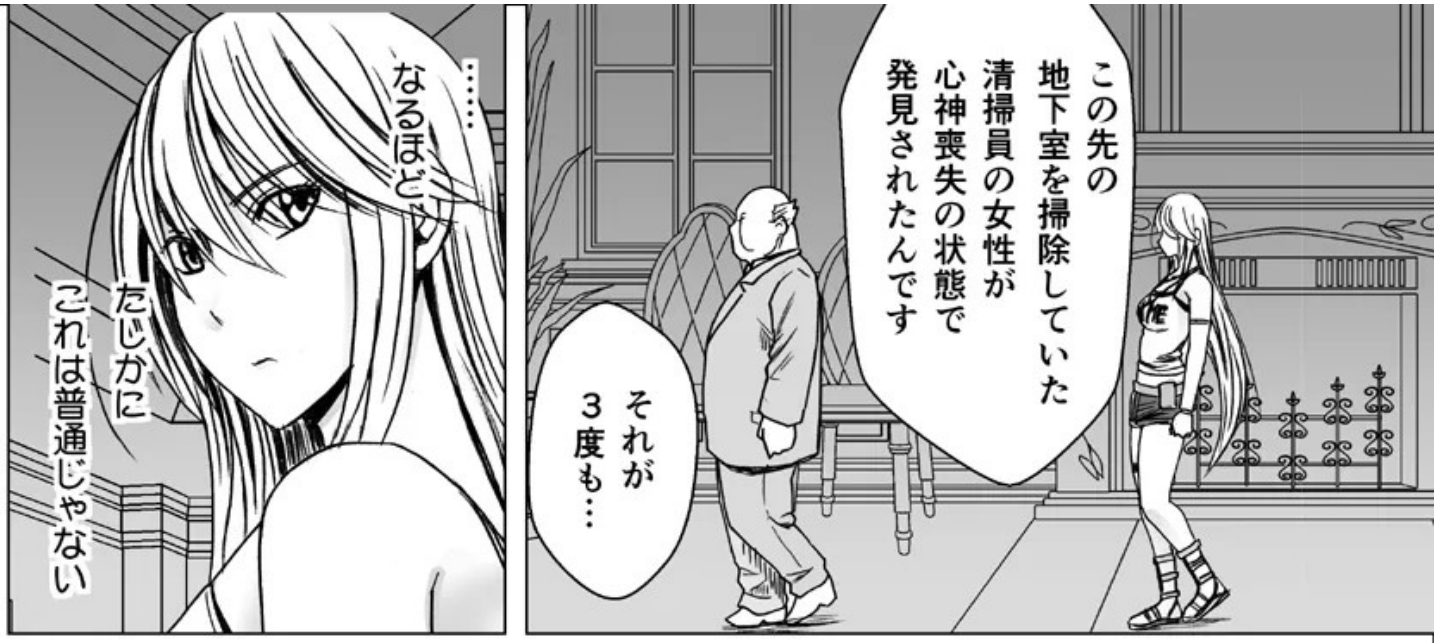

高い霊力
優れた身体能力
数多くの実戦経験
さすが
退魔士の中でも
最強の一人と
謳われるだけの
ことは
ありますね


天才
退魔士
川澄
カグヤさん…
ですね
…あなたは…？
FLYME

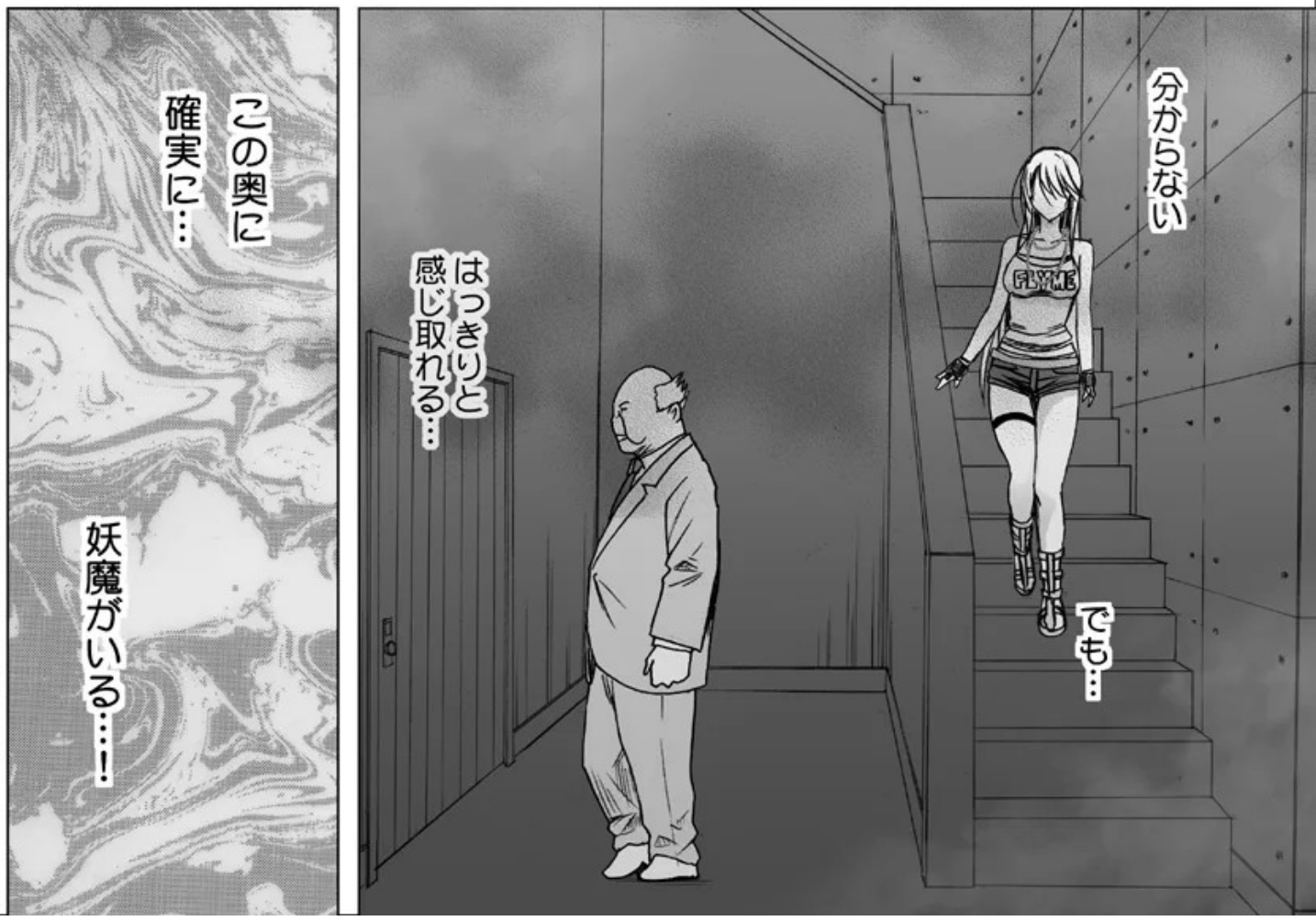
退魔士の仕事は
本来は退魔士協会からの
要請がほとんどだけど

フリーの退魔士として
活動している私には

こうやって
政財界の大物から
直接
依頼が来ることがある


この先の
地下室を掃除していた
清掃員の女性が
心神喪失の状態で
発見されたんです
それが
3度も…
……
なるほど
たじかに
これは普通じゃない

かなりの妖気が
ただよってる…
これは…
怨念…?
ここは昔
何かが行われていた
土地なの?
それが妖魔を呼び寄せた?


分からない
でも…
はっきりと
感じ取れる…
この奥に
確実に…
妖魔がいる…!

事件が起こっているのは
この部屋の奥です
ではさっそく
調査おねがいしますよ
ガチャ
待って！
うかつに
開けたらダメ！
え？
ちょっ…！
そこから
離れて！
LYME
ガチャ

技が
間に合わない……！
せめて
依頼人だけでも
守るしか……！
下がって！
FLYME

FLYME
away
逃げて！
この場から早く
はなれて！
ぐッ!!

ウフフ
また新しい女がやってきたわ
今度はどうかしら
くっ！
しまった！
FLYME
away

何なのこの妖魔は
ものすごく強い女のようね
殺意は感じられないけど
これは楽しみだわぁ

この感じ…
ねっとりとまとわりつくような陰湿な妖気…

こいつらは
淫魔…！
もみもみ
とりあえず
遊ぼうかしら
もみもみ
ウフフ
安心しなさい
私たちは
あなたを食べたり
命を奪ったり
するつもりはないの
もみもみ
私たちのやりたいことは
ただひとつ
ネットリ

淫魔の狙いは分かってる…！
こいつらは他の妖魔と違って食欲がないかわりに
強い性欲を持っている…！
それが私たちにとっての最大の愉悦
あなたを淫らな快感の虜にすること
あなたのような強い女を淫らなことしか考えられなくカラダに変えて堕落させてしまうこと
びくっ♡
びくっ♡
away
もみもみ
もみもみ
私の体を弄ぶつもりかもしれないけど…
このままやられっぱなしじゃ…！
グッ

ハッ
はっ！
FLYME
away
ウフフ
私たちのカラダを
破壊できるなんて
今までの女たちとは
わけがちがうわね
でも
その程度の
攻撃じゃ
シュル
シュル
焼け石に水ね
この触手は
あなたを弄ぶために
いくらでも
再生するのよ
……!!
ガッ
FLYME
away

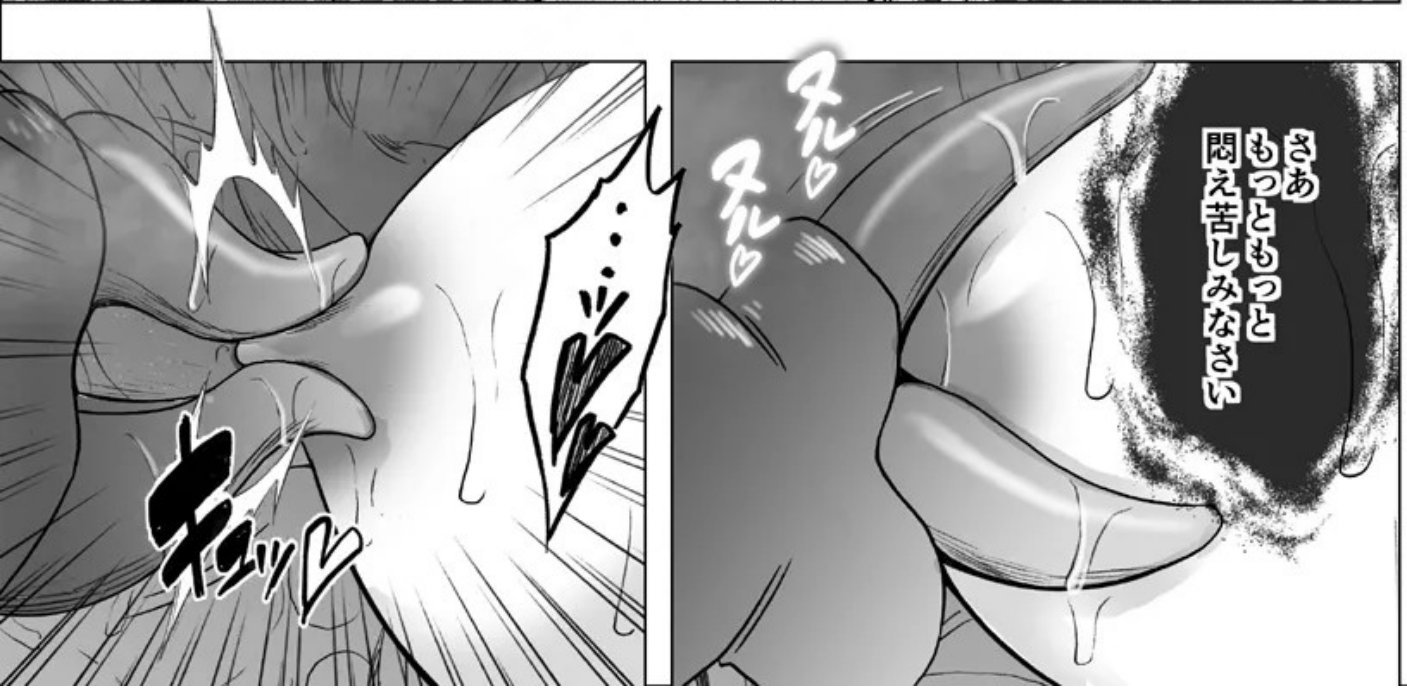
ニルニルレルレル
さぁまずはあなたのカラダを
……!!
もっともっと性の喜びを感じられるカラダに変えてあげるから
FLYME
away
これは…
……!?
この感覚は…!
以前くらったものと同じ…!

「淫水」…!

まずい!
これを塗られて
しまったら…!
ヌル♡
ヌル♡

aware
クイッ
ヤッ！
バッ
まあHなオッパイ♪
ポヨン
ジュルッ
ただでさえ敏感そうなのに
淫液をつけたらどうなってしまうのかしら？

ウフフフ
そうやって
強い女が
戦いの中で
びくっ♡
気持ちよく
されてしまって
びくっ♡
だんだん
まともに抵抗が
できなくなっていく
ところ
びくっ♡
それをみるのが
サイコーに
愉しいの


さあ
もっともっと
悶え苦しみなさい
ヌル♡
ヌル♡
キュッ♡

ヌヌヌッ
ズリュッ
ダリュン♡

クスクス
どうしたの？
早く抵抗しないと
全身をビンカンな
カラダにされて
どんどん
戦えなくなって
しまうわよ

このままじゃ
ダメだ！
触手を焼き払ったところで
ダメージは少ない
んぐ
ゲッ

こんな体勢が整ってない
状態で技をはなっても
むしろ無駄に
霊力を消費するだけ

さあて
もう十分かしら
びくっ
チャンスは少ない
なんとか
弱点となる核を
見つけ出して
びくっ
ヌル♡
びくっ♡
ヌル♡
ヌル♡
とりあえず一度
どれくらい敏感に
なってるか
確認して
みましょうか
そこをピンポイントで
叩くしかない！
ぬるるる♡

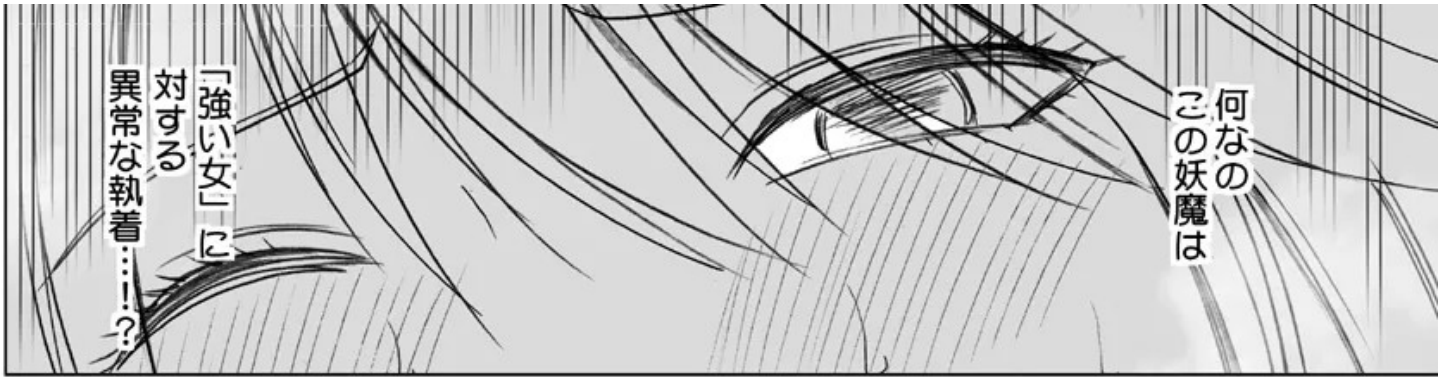
びくっ♡
びくっ♡
それまでは…！

チャンスが来るまでは…！
あらあら
乳首はもう
ダメみたいね
はっ
このまま
乳首をいじり続けたら
イキそうね？
フフフ
耐えるしかない…！

チュ♡
チュ♡
チュ♡
チュ♡

ほあ
ほあ
ずいぶん
敏感なカラダを
お持ちのようね
フフフ…
どうやら
こうやって淫液を
塗られてイカされるのは
はじめてじゃ
ないみたい
ペロ
ペロ
ペロ
ペロ
びくっ♡
びくっ♡
一度
淫液の影響を受けた
女のカラダは
治療しても
完全にその効果を
取り除くことは
できないからね
それに
あなたのような
霊力の高い女は
人一倍
淫液の影響を
受けやすいからね
どこまで敏感になるか
試してみようか
フフフ

まずはたっぷりと
淫液だけをカラダ中に
塗り続けてあげる
ヤッ!
びくっ♡
びくっ♡
ヌル♡
ヌル♡
ほらほら
焦ったほうが
いいんじゃない?
ヌル♡
ヌル♡
このままじゃ
極限まで
敏感なカラダに
されるわよ
ヌル♡
…
そしたらもう
まともに戦えなくなって
強い女じゃ
なくなるわよ?
ヌル♡
ヌル♡


何なのこの妖魔は
「強い女」に対する異常な執着…!?

ほらほら悔しくないの？
あなたのこの洗練された戦う体が
どんどんいやらしいカラダにされてるのよ？
くっ…焦っちゃダメ！
びくっ♡
びくっ♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
びくっ♡

焦ってこんな体勢で技を無駄打ちしても
こいつらは倒せない！

チャンスを…！

チャンスを
待つしかない！

1時間
2時間
びくっ♡
ビクン
ヌル♡
まだだ…！
必ずチャンスは
来る…！
ビクビク

6時間…

3時間

これだけ淫水を浴びてまだ正気を保てるなんて
フフフ…
たいした精神力だわ
でもカラダはイキたくてしょうがなくなってるの分かってるわよ

でも
まだイカせない
ここからさらに
追い打ちをかけて
一気に感度を
極限にまで
持って行ってあげる
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡

人間のカラダが
許容できる
快感の限界まで
もっていって
そこから
イかせまくって
あげるから
はっ♥
びくっ♥
はぁっ♥
びくっ♥
はぁっ♥
ヌル♥
ヌル♥
ヌル♥
びくっ♥

12時間経過…
フフフ
そろそろいいかしら
はぁ♡
びくっ♡
はぁ♡
びくっ♡
そろそろ極限にまで性感が高まってるんじゃない？
ヌル♡
ヌル♡

じゃあそろそろこのイキたい欲求が溜まりに溜まって
淫らに熟れきったこのカラダを

収穫させてもらおうかしら
ヌル♡
ヌル♡
キュッ
くっ！
耐えろ！
ビクッビクッ
耐えるんだ！

ビクビク
ビクビク
ビクビク
ダル
ダル
ダルダル

ウフフフ
常人だったらこれだけでもう
フフフ…
意識が飛んでもおかしくない快楽のはずなのに

さすがは強い女ね
これは弄りがいがあるわ
フフフ…
意識を強く持たないと！
ビクッ♡
ビクッ♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡

ペロ
ペロ
一瞬でも気を抜いたら流される！

快楽に飲み込まれてしまう！

私はまだ負けない！

私は今
戦ってるんだ！
ぬちゃ♡ぬちゃ♡
ぬちゃ♡
ぬちゃ♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡

はぁ
はぁ
フフフ
もう
こんなにHなカラダに
されて
何度もイカされてるのに
まだそんな目が
できるのね
まだ私たちを倒す
奥の手が
あるって感じかしら？
んッ
…
さすがは
強い女ね
ゾクゾクするわ
いいわ
あなたは
そのまま
臨戦態勢を
とり続けていなさい
そういう女を
無理矢理イカせるほうが
面白いからね
スッ
ネルネル♥

ウフフ
ここももう
ヌルヌル
こんな状態で
どうやって私たちを
倒すのかしら？
もっともっと
淫らなカラダに
してあげる
びくっ♡
びくっ♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡

アソコの中に
直接淫液を
流し込んであげるわ
カラダの奥底まで
淫らに染まりきって
しまいなさい
ぬちゃ♡
ビクビク

くっ……！
体の表面なら
なんとか
霊力の膜を張って
効果を軽減することが
できるけど
びくっ♡
体の内部は……！
ひぎぃ♡
チル♡
チル♡
ぬち♡
ぬち♡
ぬち♡
ぬち♡
どうすることも……！

ウフフ
今までよりも
焦り始めた
みたい
びくっ♡
びくっ♡
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
どうやら
膣内の攻撃には
弱いみたいね
もっともっと
ぐちゅぐちゅに
してあげる

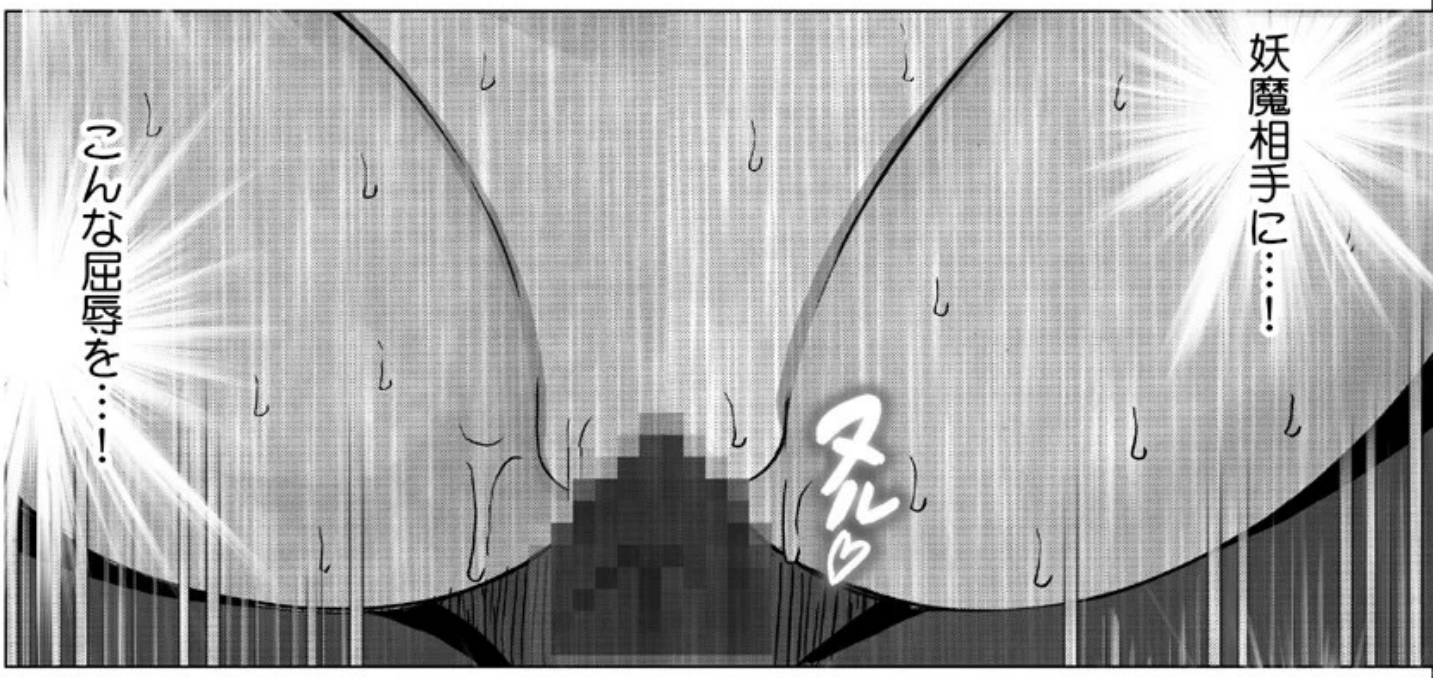
ぶぢゅっ
あっ…♡
あっ…♡
びくっ
びくっ
びくっ
ぶちゅっ
ぶちゅっ
ぶちゅっ
ぶちゅっ

穴という穴から淫液を流し込んであげる
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ

ビクッ
ビクッ
ムンッ♡
ムンッ♡
ﾘﾘﾘ
ﾘﾘﾘ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡

フフフ…
ここまでは
強い霊力で
淫液の影響を
防いでいたみたいだけど
ほあ
ほあ
ほあ
カラダの内部に
直接流し込まれたら
どうしようもない
みたいね
これ以上は
やばいって顔
してるの
バレてるわよ
ほあ
だったら
いっぱいナカに
ぶちまけてあげるわ
ドキッ
コレでね
ドクッ

くっ！


妖魔相手に……！
こんな屈辱を……！
ヌル♡

ダメだ！
ダメだ！
ん…ッ…
グッ
グッ

入れられる……！
ズッ
ズッ

ハァ…ハァ…
びくっ
びくっ
びくっ

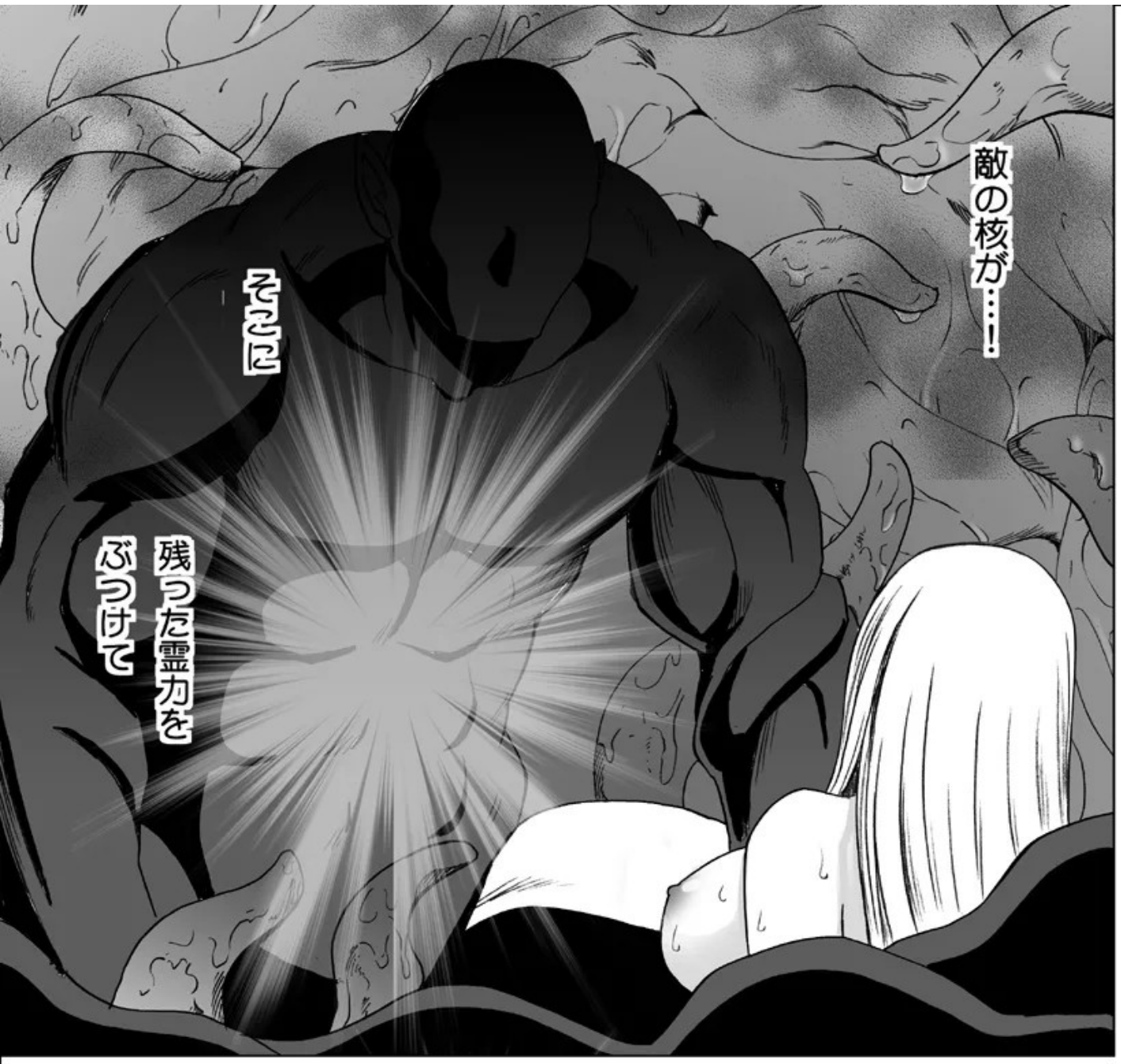
ああっ！
ナカがえぐられるッ！
快感で
力が入らない！
こんな状態で
中に注ぎ込まれたら…！
ますます
戦う力が奪われて…！

何とか…！
はやく何とか
弱点を…！
まだ戦うことを
諦めてないの？
もういいじゃない
ふっ…

戦いなんかやめて
快楽を楽しみましょう?
この太い
男根
気持ちイイんでしょ?
ぴくっ♡
ぴくっ♡
ぴくっ♡
たまらないんでしょ?
ほら一発目
出しちゃうわよ
快感に
毒されなさい

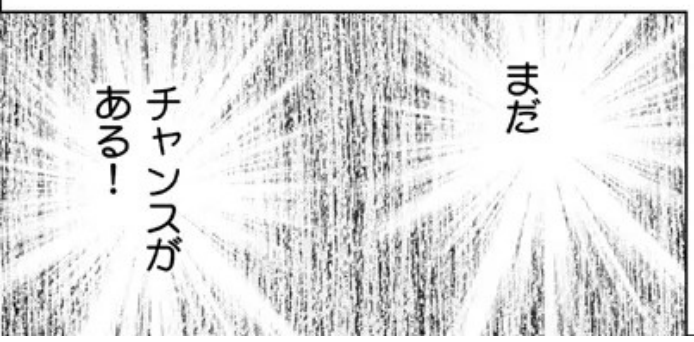
ズル♡
ズル♡
ズル♡
ズル♡
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク

はぁっ♥
はぁっ♥
はぁっ♥
んぐっ
びくっ♡
びくっ♡
濃い淫液を大量に飲み込んだわね
これであなたのカラダが淫らになったわ
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
カラダが熱い…！
頭がボーッとする…！
でも見つけた…！
さっき発射される瞬間に…


敵の核が…！
そこに
残った霊力を
ぶつけて

こいつを倒す！

まだ私は
負けてない！


まだ
チャンスが
ある！

絶対に諦めない！
ビクッ♡
ビクッ♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ズボッ♡
あらあら
何その目は？
フフフ…
まだそんな目ができるのね

まだ頑張るつもり？
なかなか
諦めが悪いのね
でももう
限界でしょう？

5秒に1回は
イッてるクセに

まあいいわ
あ♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
どうせいつまでも耐えるのなんて無理なんだし
グチュ♡
グチュ♡
んぐっ♡
ちゅく♡
ちゅく♡
ちゅく♡
ちゅく♡
このままイキ狂うまで注ぎ続けてあげる
ビュルルッ
ぐりぐりぐりぐり♡

ビビビ
ビビビ
ズル
ズル
ビビビ
ズル
ズル
ビビビ
ビビビ
グチュ

はっ
はぁ
はぁっ♥
くっ…ダメだ！
また弱点を隠されて…！
これじゃ確実に一撃で倒せない！
もっと油断させないと
こうなったら…イチかバチか…！
油断させるために…
わざと…！

堕ちてるフリを…！
イクッ！
びくっ♡
びくっ♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
ヌル♡
あ…！
イクイクッ♡
ビクビクッ
ビクビクッ
ビクッ
もっと
もっと
ちょうだい♡

あら
やっと
墜ちたのかしら？
びくっ
びくっ
まさか
こんなに
耐えるとは
思ってなかったわ
でも
耐えに耐えた女が
諦めて
堕ちる瞬間は
ヌル♡
ヌル♡
やっぱりサイコーね

イクッ！
イクッ！
気持ちイイ？
もっと欲しい？
もっと！
もっと
欲しいです！

これは演技！
堕ちてるフリをしてるだけッ！
本心じゃないって自分で分かってるのに！
さあ強い女が完全に性奴隷に堕ちる瞬間をみせなさい
もっと！
もっとしっかり戦う意識を保たないと！
気持ちが持っていかれる！

びゅるっ
びゅるっ
びゅるっ
びゅるっ

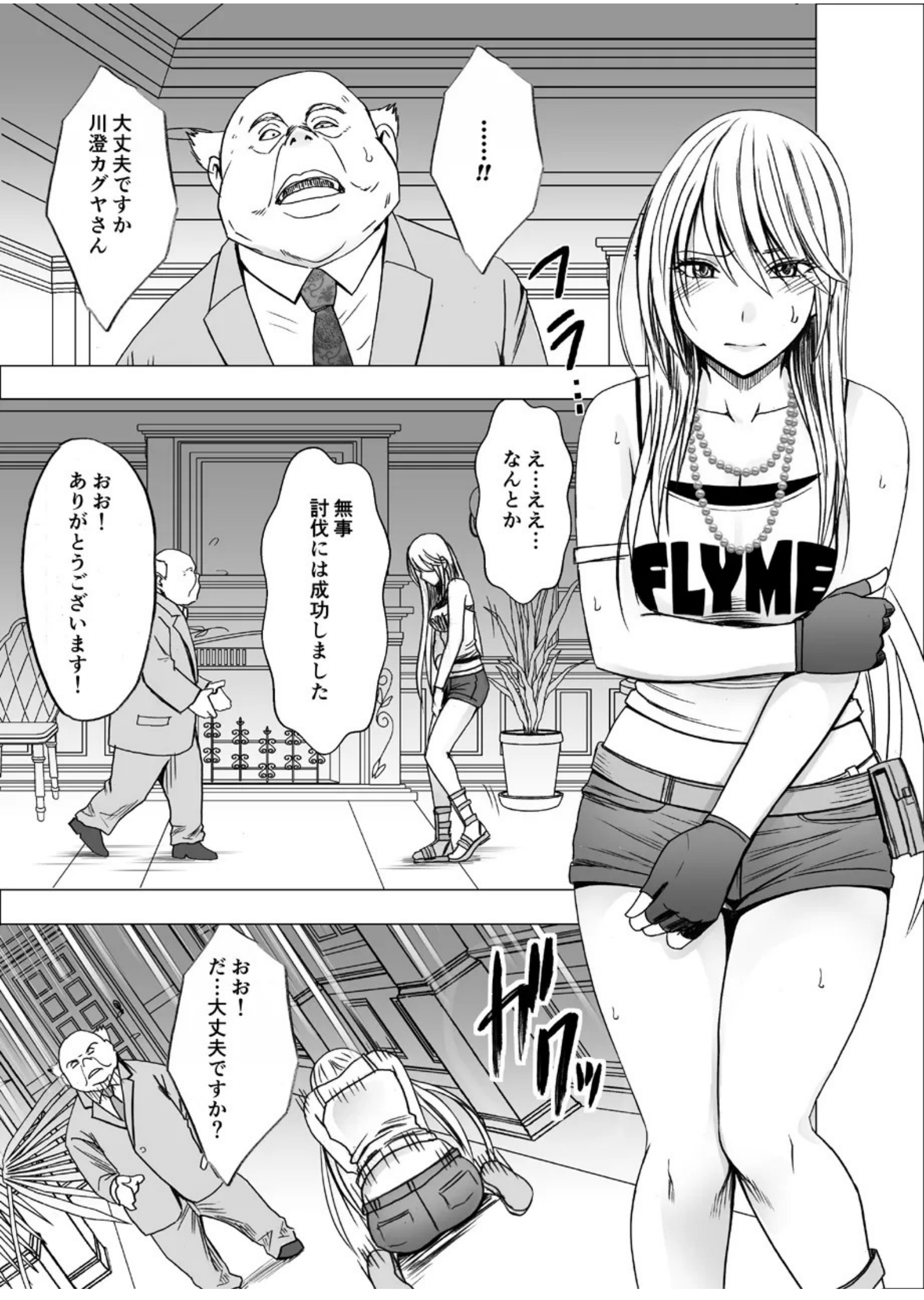
見えた！
妖魔の核が…！
耐えた！
私は
耐えきったんだ！
くらえ！

陽魂衝!

ニョウウウ…

なんとか
妖魔の討伐には
成功した

妖魔は
強い負の感情を
エサとして
うまれてくる場合が多い
強い女への
執着の強い
淫魔…
もしかしたら
昔ここで
強姦事件などが
発生していたのだろうか？


……!!
大丈夫ですか
川澄カグヤさん
フラ…
え…ええ…
なんとか
無事
討伐には成功しました
おお!
ありがとうございます!
FLYME
ガクッ
おお!
だ…大丈夫ですか?

肉体的な
ダメージこそ
少なかったものの

もし…よろしければ
水を…

水!?

水ですか?
分かりました!

数時間にわたって
妖魔からの性拷問を
受け続けた影響で

消耗は予想以上の
ものだった

衰弱しきって
まともに歩くことも
できなくなっていた
私は

霊力と体力が回復するまで
しばらく
この屋敷で
休ませてもらうことに
したんだけど…

それが
甘かった

戦いは

まだ終わっては
いなかった